

# 歯科補綴学 1

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学修目標 (G I O)	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)，実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，実技試験およびPBLの評価など：50%) を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

## 歯科補綴学導入

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学に関する基本的な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、會田 雅啓、飯島 守雄、木本 統、大久保 昌和、伊藤 誠康、桑原 克久、中田 浩史、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、井上 正安、長谷川 淑子、小出 恭代、末光 弘宜、古賀 麻奈花、福井 俊介、柴 隆三、石渡 幸志、木村 純
教科書	無歯顎補綴治療学第3版：市川哲雄ほか編：医歯薬出版。 歯学生のパーシャルデンチャー第5版：三谷春保ほか編：医歯薬出版。 クラウンブリッジ補綴学第4版：石橋寛二ほか編：医歯薬出版。 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック：日本口腔顔面痛学会編：医歯薬出版
参考図書	新編 顎関節症 日本顎関節学会編 永末書店 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子ほか クインテッセンス出版
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)，実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価，実技試験およびPBLの評価など：50%) を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/01 (金) 1時限 09:00～10:30	導入1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学1オリエンテーション	<p>【授業の一般目標】 補綴治療を円滑に行うために補綴治療の役割と患者への貢献に関する知識および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる 2. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 3. 補綴歯科治療の利益と不利益を説明できる。 4. 補綴歯科治療に関連する疫学を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯学生のパーシャルデンチャー：1章，2章 無歯顎補綴治療学：1章-I, II</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件</p>	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄 大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/01 (金) 1時限 09:00～10:30	導入1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学1オリエンテーション	イ 機能的要件 ウ 形態的要件  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄 大久保 昌和
2016/04/05 (火) 2時限 10:40～12:10	導入2. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。  【準備学修項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック  【学修場所・媒体等】 301教室：講義  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 キ プラキシズム  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	大久保 昌和 河相 安彦
2016/04/05 (火) 3時限 13:00～14:30	導入3. 口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる  【準備学修項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83  【学修場所・媒体等】 301教室、第5実習室  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査  【コアカリキュラム】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/05 (火) 3時限 13:00~14:30	導入3. 口腔外診察	E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸啓 矢崎 和貴 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 紘 石渡 奈 木村 花 柴 幸 福井 純 隆三 俊介
2016/04/05 (火) 4時限 14:40~16:10	導入3. 口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる  【準備学修項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83  【学修場所・媒体等】 301教室、第5実習室  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸啓 矢崎 和貴 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 紘 石渡 奈 木村 花 柴 幸 福井 純 隆三 俊介
2016/04/12 (火) 3時限 13:00~14:30	導入4. 口腔内診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。  【準備学修項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83  【学修場所・媒体等】 第5実習室  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸啓 矢崎 和貴 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 紘 石渡 奈 木村 花 柴 幸 福井 純 隆三 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/12 (火) 3時限 13:00~14:30	導入4. 口腔内診察	<p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-1 診療の基本            E-1-1) 基本的診療技能            *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/04/12 (火) 4時限 14:40~16:10	導入4. 口腔内診察	<p>【授業の一般目標】            補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 歯列と咬合について説明できる。            2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる            3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】            クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学修場所・媒体等】            第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-1 診療の基本            E-1-1) 基本的診療技能            *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/04/19 (火) 3時限 13:00~14:30	導入5. 研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	<p>【授業の一般目標】            歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 印象採得の種類と方法を説明できる。            2. 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】            クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学修場所・媒体等】            第5実習室：実習</p> <p>【学修方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/19 (火) 3時限 13:00~14:30	導入5. 研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑮研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑮歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/04/19 (火) 4時限 14:40~16:10	導入5. 研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の種類と方法を説明できる。 2. 研究模型と作業用模型の製作方法を説明できる。  【準備学修項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83  【学修場所・媒体等】 第5実習室：実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑮研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑮歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/04/26 (火) 3時限 13:00~14:30	導入6. 研究模型の咬合器付着・検査	【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 研究用模型の咬合器への伝達方法を述べることができる 2. フェイスボウの意義について述べることができる。 3. 基準平面について述べることができる。 4. 咬合検査の項目を列挙できる。 5. 研究模型での咬合検査を行うことができる  【準備学修項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83  【学修場所・媒体等】 第5実習室：実習  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/26 (火) 3時限 13:00~14:30	導入6. 研究模型の咬合器付着・検査	<p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-1 診療の基本            E-1-1) 基本的診療技能            ⑱研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑱歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/04/26 (火) 4時限 14:40~16:10	導入6. 研究模型の咬合器付着・検査	<p>【授業の一般目標】            歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 研究用模型の咬合器への伝達方法を述べることができる            2. フェイスボウの意義について述べることができる。            3. 基準平面について述べるができる。            4. 咬合検査の項目を列挙できる。            5. 研究模型での咬合検査を行うことができる</p> <p>【準備学修項目】            クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学修場所・媒体等】            第5実習室：実習</p> <p>【学修方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-1 診療の基本            E-1-1) 基本的診療技能            ⑱研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑱歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

## 有床義歯補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	全部および部分無歯顎者の病因および病態の診断と、それに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な有床義歯補綴学(総義歯および局部床義歯)に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、成田 紀之、飯島 守雄、木本 統、伊藤 誠康、大久保 昌和、桑原 克久、中田 浩史、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、郡司 敦子、井上 正安、長谷川 淑子、小出 恭代、※北村 彩、末光 弘宜、古賀 麻奈花、石渡 幸志、木村 純、福井 俊介、柴 隆三、西山 典宏
教科書	無歯顎補綴治療学 第3版： 市川哲雄ほか編： 医歯薬出版。 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版： 三谷春保ほか編： 医歯薬出版。 総義歯補綴学実習便覧 第2版： 有床義歯補綴学講座編： 有床義歯補綴学講座。 局部床義歯補綴学実習要綱： 有床義歯補綴学講座編： 有床義歯補綴学講座。
参考図書	コンプリートデンチャーテクニック 第6版. 細井紀雄 ほか編： 医歯薬出版 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 第12版. 田中久敏ほか監訳/Zarb GA ほか編： 医歯薬出版 Implant overdentures: The standard of care for edentulous patients. Feine JS, Carlsson GE: Quintessence パーシャルデンチャーテクニック 第5版 五十嵐順正・石上友彦ほか編 医歯薬出版 パーシャルデンチャーの設計. Watt DM, MacGregor AR/小林義典 ほか訳： 医歯薬出版 マクラッケン パーシャルデンチャー. Henderson D, Steffel VL/橋本京一訳： 医歯薬出版 咬合・咀嚼障害の臨床 症例別にみた歯科補綴学的対応. 細井紀雄ほか編： 医歯薬出版 床義歯の生理学. 覚道幸男： 学建書院 Denture Repair 部分床義歯・全部床義歯・インプラントオーバーデンチャー 村田比呂司・馬場一美 編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 第5版. 榎本貢三ほか編： 学建書院
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①～⑥の平均：50%)、実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など：50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	有床義歯補綴は壮年者から高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが明らかになっています。今回の学修により多くの症例に対応できる基本を修得することを期待します。講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくことで理解が深まります。今回の学修とその後の生涯にわたる研修を通じて、様々な症例に対応できるよう、学修に際して常に実際の患者を意識して行ってください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/12 (火) 2時限 10:40～12:10	有床1. 障害の種類 (A. 機能障害 B. 形態障害 C. 心理的障害 D. 社会的障害)	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の障害、病態および加齢変化について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 4. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：1章-IV 歯学生のパーシャルデンチャー：5章</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 ア 口腔の形態・機能の変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 イ 顎骨の形態変化 ウ 顔貌の変化 エ 顎関節の変化 オ 全身への影響</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/12 (火) 2時限 10:40～12:10	有床1. 障害の種類 (A. 機能障害 B. 形態障害 C. 心理的障害 D. 社会的障害)	E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相 安彦
2016/04/19 (火) 2時限 10:40～12:10	有床2-1. 障害の病因と病態: 歯の全部欠損による障害	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な無歯顎者の障害、病態および加齢変化について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 全部床義歯 (総義歯) の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 無歯顎の病態について説明できる。 3. 無歯顎による障害の種類を説明できる。 4. 無歯顎者の主要症候を説明できる。  【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学P6～43, 51～55P44～51  【学修場所・媒体等】 301教室: 講義  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 ア 口腔の形態・機能の変化  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 イ 顎骨の形態変化 ウ 顔貌の変化 エ 顎関節の変化 オ 全身への影響  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相 安彦
2016/04/26 (火) 2時限 10:40～12:10	有床2-2. 障害の病因と病態: 歯の部分欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害、局部床義歯の症型類型	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療を円滑に行うために必要な歯列の部分欠損の障害、病態および加齢変化について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の設計に有用な症型分類を説明できる。  【準備学修項目】 歯学生のパーシャルデンチャー: 10章 (P79-83), 16章 (121-145), 21章 (169-174)  【学修場所・媒体等】 301教室: 講義、到達度クイズ  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	大久保 昌和
2016/05/10 (火) 2時限 10:40～12:10	有床3. 主要症候 [症状と徴候], 有床4. 様々な義	【授業の一般目標】 歯の欠損に伴う自覚症候および他覚症候について理解する。 様々な義歯の目的と適応基準を理解する。	河相 安彦



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯による治療法	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯の欠損に伴う自覚症候を列挙できる</li> <li>2. 歯の欠損に伴う他覚症候を列挙できる</li> <li>3. 即時義歯の目的と適応基準を説明できる</li> <li>4. 移行義歯の目的と適応基準を説明できる</li> <li>5. 治療義歯の目的と適応基準を説明できる</li> </ol> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学1章-IV (p51～53), 18章 (p302～310) 歯学生のパーシャルデンチャー5章 (p39～41)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 エ 審美障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 オ 社会・心理的障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 E-3-4)-(3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。</p>	河相 安彦
2016/05/10 (火) 3時限 13:00～14:30	有床5. 有床床義の構成要素と維持・支持・把持①（局部床義歯）	<p>【授業の一般目標】 歯の部分欠損に対する歯科補綴装置のと維持・支持・把持を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。</li> <li>2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】 歯学性のパーシャルデンチャー：8～14章 (P.70～109)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 18 補綴歯科治療 ア 残存組織の変化とその対応 イ 咬合の変化とその対応 ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。</p>	飯島 守雄 河相 安彦
2016/05/10 (火) 4時限 14:40～16:10	有床6. 有床床義の構成要素と維持・支持・安定②（総義歯（全部床義歯））	<p>【授業の一般目標】 歯の全部欠損（無歯顎）に対する歯科補綴装置のと維持・支持・把持を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。</li> <li>2. 総義歯の維持を發揮する義歯要件を列挙できる</li> </ol>	河相 安彦 飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/10 (火) 4時限 14:40～16:10	有床6. 有床床義の構成要素と維持・支持・安定 ② (総義歯(全部床義歯))	3. 総義歯の支持に関わる義歯要件を列挙できる 4. 総義歯の安定に関わる義歯要件を列挙できる  【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学 P43～56  【学修場所・媒体等】 301教室：講義  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2016/05/17 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-1. 局部床義の目的と意義、適応症および種類	【授業の一般目標】 歯の部分欠損に対する歯科補綴治療の意義と方法を理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。  【準備学修項目】 歯学性のパーシャルデンチャー：8～14章(P.70～109)  【学修場所・媒体等】 301教室：講義  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 18 補綴歯科治療 ア 残存組織の変化とその対応 イ 咬合の変化とその対応 ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	飯島 守雄
2016/05/17 (火) 3時限 13:00～14:30	有床7. 医療面接と診察	【授業の一般目標】 有床義歯補綴に必要な医療面接と診察に関わる知識技能および態度を修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 主訴を聴取できる 2. 現病歴を記録できる 3. 一般既往歴を記録できる 4. 全身状態を聴取できる 5. 局所的診察の項目を列挙できる  【準備学修項目】 予習ビデオ 無歯顎補綴治療学：2章(p56～81) 歯学生のパーシャルデンチャー：16章(p121～136)  【学修場所・媒体等】 反転授業 グループ討議  【学修方略(LS)】 講義	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 和貴 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/17 (火) 3時限 13:00~14:30	有床7. 医療面接 と診察	<p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 a 主訴</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ウ 病歴聴取 b 現病歴</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/05/17 (火) 4時限 14:40~16:10	有床8. 有床義歯の 評価と診断	<p>【授業の一般目標】 有床義歯の評価と診断に必要な知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 支台歯の評価・診断ができる 2. 顎堤の評価・診断ができる 3. 機能的評価と診断ができる 4. 口腔衛生状態の評価・診断ができる 5. パーソナリティーの評価・診断ができる</p> <p>【準備学修項目】 予習ビデオ 無歯顎補綴治療学：2章（p56~81） 歯学生のパーソナルデンチャー：16章（p121~136）</p> <p>【学修場所・媒体等】 反転授業 グループ討議</p> <p>【学修方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 診療記録と診療情報 ア 診療録、医療記録 c SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/05/24 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験①（有床 義歯補綴学 10:4 0~11:30） PD実-1: 上下顎概 形印象・研究模型 :（実習：11:30 ~12:10）	<p>【授業の一般目標】 患者の治療を自立して行うために必要な補綴学の基本的な知識、技能および態度を修得する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛について説明できる 2. 有床義歯にかかわる障害の種類を列挙できる 3. 有床義歯にかかわる障害の病因を列挙できる 4. 有床義歯にかかわる障害の病態を列挙できる 5. 様々な義歯による治療法を列挙できる 6. 有床義歯の構成要素を説明できる 7. 有床義歯の維持・支持・把持安定について説明できる 8. 医療面接と診察、評価と診断を行うことができる 9. 口腔外診察の項目を列挙できる 10. 口腔内診察の項目を列挙できる</p> <p>【準備学修項目】 出題範囲：有床1~8, 補綴学導入1~6</p> <p>【学修場所・媒体等】 10:40~11:30：平常試験：301教室 11:30~12:10：実習第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/24 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験①(有床義歯補綴学 10:40～11:30) PD実-1: 上下顎概形印象・研究模型 :(実習: 11:30～12:10)	歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 宜 古賀 丈 賀 奈 石渡 花 木村 幸志 柴 純 隆三 福井 俊介
2016/05/24 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-1: 上下顎概形印象・研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究模型を適性に製作する概形印象採得法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。  【準備学修項目】 概形印象採得、研究模型製作  【学修場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目(予備印象、研究模型の調整)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 宜 古賀 丈 賀 奈 石渡 花 木村 幸志 柴 純 隆三 福井 俊介
2016/05/24 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-1: 上下顎概形印象・研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯の検査を行うために必要な研究模型を適性に製作する概形印象採得法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。  【準備学修項目】 概形印象採得、研究模型製作  【学修場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目(予備印象、研究模型の調整)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 宜 古賀 丈 賀 奈 石渡 花 木村 幸志 柴 純 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/24 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-1: 上下顎概形印象・研究模型	<p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p> <p>*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p> <p>*⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/05/31 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-2. 局部床義歯の診査 治療計画 概形印象と研究模型 サベイング	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 模型のサベイングを行うことができる 2. 局部床義歯製作に必要な検査・診査ができる。 3. 治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目】 歯学生のパーシャルデンチャー：12章 (P121～145) , 21章, 22章 (169～187)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室：講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	石井 智浩 河相 安彦
2016/05/31 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-2: サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。 局部床義歯治療の設計に必要なサベイングの方法を修得する。 局部床義歯の精密印象採得に適した個人トレーの形態と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調整できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目 (サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作)</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/31 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-2: サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 未光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/05/31 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-2: サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために行う検査と診査・診断に基づく治療計画の立案方法について理解する。 局部床義歯治療の設計に必要なサベイングの方法を修得する。 局部床義歯の精密印象採得に適した個人トレーの形態と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作）</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 未光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/07 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-3. 有床義歯の口腔内前処置（広義・狭義）	<p>【授業の一般目標】 歯列の全部および部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔内前処置を定義できる 2. 広義の口腔内前処置を列挙できる 3. 狭義の口腔内前処置を列挙できる 4. 局部床義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 5. 総義歯に特異的な口腔内前処置を説明できる 6. 有床義歯に関わる粘膜病変を説明できる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：3章（P84～91） 歯学生のバーチャルデンチャー：12～14章（P88-109）, 17～19章（P137-145, 146, 150-157,）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/07 (火) 2時限 10:40~12:10	PD-3. 有床義歯の 口腔内前処置 (広 義・狭義)	301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 2 診察・検査・診断・前処置 カ 前処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	大久保 昌和
2016/06/07 (火) 3時限 13:00~14:30	PD実-3: マウス プレパレーション・ 個人トレー	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために必要なサベイング検査に基づいて義歯の設計線の設定 出来る知識と技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。 【準備学修項目】 サベイング、仮設計、個人トレー 【学修場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目 (サベ イング、設計線の記入、個人トレーの製作) 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/07 (火) 4時限 14:40~16:10	PD実-3: マウス プレパレーション・ 個人トレー	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために必要なサベイング検査に基づいて義歯の設計線の設定 出来る知識と技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。 【準備学修項目】 サベイング、仮設計、個人トレー 【学修場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目 (サベ イング、設計線の記入、個人トレーの製作) 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング 【国家試験出題基準 (副)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/07 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-3: マウス プレパレーション・ 個人トレー	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介</p>
2016/06/10 (金) 1時限 09:00～10:30	有床9. 有床義歯に おける印象法の種 類	<p>【授業の一般目標】 有床義歯製作のために必要な印象法に関する知識・技能および態度を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の印象法を列挙できる 2. 有床義歯のに用いる印象材の特徴を説明できる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学: 4章V～VII (p115～129) 歯学生のパーシャルデンチャー: 6章 (p49～53), 20章 (p158～161)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2016/06/14 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-4. 治療 局部 床義歯の精密印象 と作業模型	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技および使用材料について理解する。 精密印象から製作する作業模型に必要な要件を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 2. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 3. 印象用材料について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯学生のパーシャルデンチャー12～14章 (P88-109), 20章 (158-168)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室: 講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。</p>	大久保 昌和



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/14 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-4: 支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (鈎歯の形成、筋形成、最終印象)</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/14 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-4: 支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に必要な精密印象法に関する理論、手技を修得する。 適切な作業模型の制作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (鈎歯の形成、筋形成、最終印象)</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/14 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-4: 支台歯に対する前処置・筋圧形成・精密印象・ボクシング・作業模型	*⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/17 (金) 1時限 09:00～10:30	PD-5. 局部床義歯の直接維持装置・アタッチメント	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために支台（維持）装置について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の直接支台（維持）装置について説明できる。 2. 局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 支台（維持）装置、アタッチメント</p> <p>【学修場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャー：14章（P98～109），24章（198～212）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。</p>	成田 紀之
2016/06/21 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-4: 作業模型の完成	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために必要な作業模型を完成する技能を身につける。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目（鉤歯の形成、筋形成、最終印象）</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/21 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-4: 作業模型の完成	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/21 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-5: サベイン グ・最終設計・ブ ロックアウト・リ リーフ	【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリーフの実施方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリーフができる。  【準備学修項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフ  【学修場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ、Web-clas sの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリーフ)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエック ス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/21 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-5: サベイン グ・最終設計・ブ ロックアウト・リ リーフ	【授業の一般目標】 作業模型にサベイングを行い適切な最終設計線の記入する方法を修得する。 設計線に基づいてブロックアウト・リリーフの実施方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリーフができる。  【準備学修項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリーフ  【学修場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリーフ、Web-clas sの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリーフ)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/21 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-5: サベイン グ・最終設計・ブ ロックアウト・リ リーフ	5 部分床義歯による治療 カ サベイング  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/24 (金) 1時限 09:00～10:30	PD-6. 局部床義歯 の間接維持装置・ 連結子	【授業の一般目標】 局部床義歯治療の間接支台(維持)装置と連結子について理解する。  【行動目標(SBOs)】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 間接維持について説明できる。 3. 大連結子について説明できる。 4. 小連結子について説明できる。  【準備学修項目】 間接支台(維持)装置、大連結子、小連結子  【学修場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャー: 11章(84～87), 22章, 23章(P175～197, 19 8～212)  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2016/06/28 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-7. 局部床義歯 のフレームワーク の製作, パターン 採得および型ごと 埋没	【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作, パターン採得および型ごと埋没を行うの に必要な補綴学の知識を習得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 2. フレームワークの使用金属を説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。 4. クラスプパターン採得を説明できる。 5. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。  【準備学修項目】 歯学生のパーソナルデンチャー: 15章(P110-118), 22章(175-191), 24章(1 98-212)  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/06/28 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-7. 局部床義歯のフレームワークの製作, パターン採得および型ごと埋没	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	伊藤 誠康
2016/06/28 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-6: 耐火模型・クラスプとリンガルバーのパターン採得	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。  【準備学修項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ  【学修場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/06/28 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-6: 耐火模型・クラスプとリンガルバーのパターン採得	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。  【準備学修項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ  【学修場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/01 (金) 1時限 09:00～10:30	CD-1. 総義歯の目的と意義, 適応症および種類, 無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 全部床義歯 (総義歯) の構成要素を列挙できる 2. 総義歯の種類を列挙できる。 3. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 4. 印象採得の種類と方法を説明できる。 5. 研究模型の意義を説明できる。	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/01 (金) 1時限 09:00～10:30	CD-1. 総義歯の目的と意義、適応症および種類、無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	6. 個人トレーの要件を説明できる。 【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：4章I～IV (P91～104) 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦
2016/07/05 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-7: クラスプのワックスアップ・ワイヤークラスプの屈曲	【授業の一般目標】 適合の良い局部床義歯製作のために必要なクラスプのワックスアップの手順とワイヤークラスプの屈曲法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 【準備学修項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【学修場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲) 【学修方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/05 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-1: 無歯顎の概形印象採得・研究模型	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学P91～104 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/05 (火) 3時限 13:00~14:30	CD実-1: 無歯顎の概形印象採得・研究模型	6 全部床義歯による治療 イ 印象採得  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	福井 俊介
2016/07/05 (火) 4時限 14:40~16:10	CD実-1: 無歯顎の概形印象採得・研究模型	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および研究模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。  【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学P91~104  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/08 (金) 1時限 09:00~10:30	実技試験①: サベイング	【授業の一般目標】 適切な局部床義歯製作に必要な模型上の検査方法を理解する  【行動目標(SBOs)】 1. 模型の設置が出来る 2. 適切な検査ツールを選択できる 3. サベイングツールを使用することができる 4. 検査後に適切な設計線を記載することができる  【準備学修項目】 バーチャルデンチャーテクニクp13~  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/12 (火) 2時限 10:40～12:10	CD-2. 無歯顎の精密印象・作業模型	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および作業模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。 4. 作業模型の製作法を説明できる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：4章V (P105～121), VIII (129～134)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2016/07/12 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-2: 無歯顎の個人トレー	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象採得を円滑に行うために必要な個人トレーの要件と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の個人トレーの目的を説明できる 2. 無歯顎の個人トレーの設計の要件を説明できる 3. 無歯顎の個人トレーを製作できる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学P91～104</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/12 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-2: 無歯顎の個人トレー	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の精密印象採得を円滑に行うために必要な個人トレーの要件と製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の個人トレーの目的を説明できる 2. 無歯顎の個人トレーの設計の要件を説明できる 3. 無歯顎の個人トレーを製作できる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学P91～104</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/12 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-2: 無歯顎の 個人トレナー	<p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            5 部分床義歯による治療            イ 印象採得            6 全部床義歯による治療            イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。            *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/15 (金) 1時限 09:00～10:30	実技試験②: マウス プレパレーション	<p>【授業の一般目標】            歯列の部分欠損に対する口腔内前処置に関する知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 支台歯に対する前処置ができる。            2. 適切な器具の取り扱いができる            3. 患者に配慮が出来る</p> <p>【準備学修項目】            教科書および実習の復習</p> <p>【学修方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            5 部分床義歯による治療            ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。            *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/19 (火) 2時限 10:40～12:10	CD実-3: 上下顎筋 圧形成・精密印象・ ボクシング	<p>【授業の一般目標】            上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学修項目】            総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型            WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学修方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/07/19 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-3: 上下顎筋 圧形成・精密印象・ ボクシング	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/07/19 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-3: 上下顎筋 圧形成・精密印象・ ボクシング	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/09/06 (火) 2時限 10:40～12:10	CD-3 無歯顎の咬 合床・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：5章および6章 (P135-P187)</p> <p>【学修場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論</p>	木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/06 (火) 2時限 10:40～12:10	CD-3 無歯顎の咬合床・咬合採得	各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	木本 統
2016/09/06 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-4: 作業模型のリリーフ・咬合床	【授業の一般目標】 リリーフの目的に基づき、適切な緩衝域の設置と咬合床の製作方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2)～[4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章～45章  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/09/06 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-4: 作業模型のリリーフ・咬合床	【授業の一般目標】 リリーフの目的に基づき、適切な緩衝域の設置と咬合床の製作方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2)～[4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章～45章  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/09/09 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験③ (有床義歯補綴学 9:00～9:50)	【授業の一般目標】 局部床義の目的と意義、適応症および種類を理解する  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義の目的と意義、適応症および種類を説明できる 2. 局部床義歯の診査治療計画について説明できる 3. 局部床義歯の概形印象法の目的を説明できる。 4. 局部床義歯のの研究模型の意義を説明できる。 5. サペイングの意義を説明できる。 6. 有床義歯の口腔内前処置を列挙できる 7. 局部床義歯の精密印象を説明できる 8. 局部床義歯の作業模型作成法を説明できる。 9. 局部床義歯の直接および間接維持装置を列挙できる。  【準備学修項目】 出題範囲: 有床9, PD1～PD7, CD1～2  【学修方略 (LS)】 その他	河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/09 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験③(有床 義歯補綴学 9:00 ～9:50)	<p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。</p>	河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和
2016/09/27 (火) 2時限 10:40～12:10	CD-3 下顎運動の 記録・人工歯の選 択	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の下顎運動の記録と適切な人工歯選択を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 3. 人工歯の選択基準を述べるができる</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学:5章および6章(P135-P187)</p> <p>【学修場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	木本 統 伊藤 誠康
2016/09/27 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-5: 顎の対向 関係位と咬合器付 着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [5] 顎の対向関係位の設定～ [8] 顎模型(咬合床)の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第47章～52章</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/09/27 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-5: 顎の対向 関係位と咬合器付 着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎患者に適切な顎間関係を記録するために必要な理論と手技を修得する。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	CD実-5: 顎の対向関係位と咬合器付着	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [5] 顎の対向関係位の設定～ [8] 顎模型 (咬合床) の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第4 7章～5 2章</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 神谷 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介</p>
2016/10/11 (火) 2時限 10:40～12:10	PD-8. 局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適, アルタードキャスト印象法	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯のフレームワークの試適とアルタードキャスト印象法と改造印象法に関する知識および技能を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>歯学生のパーシャルデンチャー: 15章 (P110～120), 20章 (165～168), 22章 (187～192)</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>石井 智浩 河相 安彦</p>
2016/10/11 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-8: 局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【授業の一般目標】</p> <p>鋳造されたクラスプの試適事項の確認と、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>実習書第7・8回、鋳造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製)</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 神谷 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/11 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-8: 局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	キ フレームワークの製作 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/10/11 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-8: 局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	【授業の一般目標】 铸造されたクラスプの試適事項の確認と、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。 【準備学修項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床 【学修場所・媒体等】 実習書第7・8回、铸造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製) 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/10/18 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-8: 局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	【授業の一般目標】 铸造されたクラスプの試適事項の確認と、適切な咬合採得を円滑に行うのに必要な咬合床の製作方法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。 【準備学修項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床 【学修場所・媒体等】 実習書第7・8回、铸造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製) 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/18 (火) 2時限 10:40~12:10	PD実-8: 局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/10/18 (火) 3時限 13:00~14:30	実技試験③: 概形印象採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>無歯顎患者および部分欠損歯列の概形印象採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概形印象採得に使うトレーを選択できる</li> <li>2. トレーの試適を行う事ができる</li> <li>3. 印象材の練和を適切にできる</li> <li>4. 患者への配慮ができる</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>講義および実習の復習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/10/18 (火) 4時限 14:40~16:10	実技試験④: 咬合採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>無歯顎患者の咬合採得を円滑に行うために必要な知識、技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 仮想咬合平面の設定法を説明できる</li> <li>2. 仮想咬合平面の設定法を実施できる</li> <li>3. 下顎安静位を設定できる</li> <li>4. 患者への配慮が出来る</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>講義および実習の復習</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/25 (火) 2時限 10:40~12:10	PD-9. 局部床義歯の咬合床の要件と製作・顎間関係の記録	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 3. 部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 4. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯学生のパーソナルデンチャー：25章 (213-217) , 4章 (P27-34) , 5章 (42-44) , 7章 (54-69) ,</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	伊藤 誠康
2016/10/25 (火) 3時限 13:00~14:30	PD実-9: フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p> <p>【学修場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目 (フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着)</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/10/25 (火) 4時限 14:40~16:10	PD実-9: フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の適切な上下顎間関係の記録を行うために必要な咬合採得法とフェイスボウトランスファーと顎間関係記録に基づく正確な咬合器付着を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/25 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-9: フェイス ボウトランスファー・ 咬合採得・作業模 型の咬合器付着	<p>【学修場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目（フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着）</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/01 (火) 2時限 10:40～12:10	CD-4, PD-10: 有 床義歯の人工歯排 列および総義歯の 歯肉形成	<p>【授業の一般目標】 有床義歯患者の治療を円滑に行うために必要な人工歯排列に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 2. 有床義歯の人工歯排列方法を列挙できる。 3. 総義歯と局部床義歯の咬合様式の違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：7章および8章（P188～224） 歯学生のパーシャルデンチャー：26章（P218～234）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 伊藤 誠康
2016/11/01 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-6: 咬合様式 に関する 模型実 習	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/01 (火) 3時限 13:00~14:30	CD実-6: 咬合様式に関する 模型実習	E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 麻 石渡 幸 木村 純 柴 隆 福井 俊介
2016/11/01 (火) 4時限 14:40~16:10	CD実-6:人工歯排列 (上顎前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正~ (3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章~63章  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 麻 石渡 幸 木村 純 柴 隆 福井 俊介
2016/11/08 (火) 2時限 10:40~12:10	CD実-6:人工歯排列 (上顎前歯)	【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正~ (3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章~63章  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘 渡邊 丈 古賀 麻 石渡 幸 木村 純 柴 隆 福井 俊介
2016/11/08 (火) 3時限 13:00~14:30	CD実-7:人工歯排列人工歯排列 (上顎前歯・臼歯・下顎臼歯)	【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正~ (3) 上顎前歯部の排列	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/08 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-7:人工歯排列人工歯排列(上顎前歯・臼歯・下顎臼歯)	WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/08 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-7:人工歯排列人工歯排列(上顎前歯・臼歯・下顎臼歯)	【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる 【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/15 (火) 2時限 10:40～12:10	CD実-8:人工歯排列(下顎臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の実際を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列～[13] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章～69章 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/15 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-9:人工歯排列(下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整	【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与方法を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/15 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-9: 人工歯排列 (下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整	<p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [1 1] 人工歯排列～ [1 3] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第6 7章～6 9章</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/15 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-9: 人工歯排列 (下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整	<p>【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [1 1] 人工歯排列～ [1 3] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第6 7章～6 9章</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/22 (火) 2時限 10:40～12:10	CD実-9: 人工歯排列 (下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整	<p>【授業の一般目標】 上下顎総義歯のフルバランスドオクルージョンに基づく人工歯排列の完成と適切な歯肉形態の付与方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [1 1] 人工歯排列～ [1 3] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第6 7章～6 9章</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/22 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-10: 歯肉形成・咬合調整・テンチのコア	<p>【授業の一般目標】 上下顎総義歯の人工歯排列完成後の確認事項と適切なろう義歯試適を行うために必要な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/22 (火) 3時限 13:00～14:30	CD実-10: 歯肉形成・咬合調整・テンチのコアー	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 2. テンチのコアーを製作できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [13] 人工歯の総合的削合法～ [14] 歯齦 (肉) 形成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第68章～72章</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/22 (火) 4時限 14:40～16:10	CD実-10: 歯肉形成・咬合調整・テンチのコアー	<p>【授業の一般目標】</p> <p>上下顎総義歯の人工歯排列完成後の確認事項と適切なろう義歯試適を行うために必要な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 2. テンチのコアーを製作できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [13] 人工歯の総合的削合法～ [14] 歯齦 (肉) 形成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第68章～72章</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/29 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-10: 人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯の人工歯排列と排列後の確認事項と適切な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成)</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/29 (火) 2時限 10:40～12:10	PD実-10: 人工歯 排列・歯肉形成・ スプルーイング	サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/29 (火) 3時限 13:00～14:30	PD実-10: 人工歯 排列・歯肉形成・ スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の人工歯排列と排列後の確認事項と適切な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。  【準備学修項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成  【学修場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/11/29 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-10: 人工歯 排列・歯肉形成・ スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の人工歯排列と排列後の確認事項と適切な歯肉形成の仕上げ方法を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。  【準備学修項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成  【学修場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/29 (火) 4時限 14:40～16:10	PD実-10: 人工歯 排列・歯肉形成・ スプルーイング	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/12/06 (火) 2時限 10:40～12:10	有床10. 蠟義歯の 試適、有床歯の埋 没・重合、咬合器 再装着	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全部床義歯の仮床義歯の試適から埋没、重合およびリマウントまでの理論的を 理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 有床義歯の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の重合法を列挙できる 3. 有床義歯の重合法を説明できる。 4. 咬合器再装着の目的と手法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>無歯顎補綴治療学：8章および9章 (P220～236) 10章 (P237～241) 歯学生のパーシャルデンチャー：27章 (P235～243)</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ク 蠟義歯の試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。</p>	木本 統
2016/12/06 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-1: 理工学実 験 (1) 【加熱重 合・流し込み比較 】 試料作製・埋没・ 重合	<p>【授業の一般目標】</p> <p>義歯床用レジンの特徴を加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較し理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>配布プリント、歯学生のパーシャルデンチャーP235-242</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/06 (火) 3時限 13:00~14:30	RPD-1: 理工学実験 (1) 【加熱重合・流し込み比較】 試料作製・埋没・重合	<p>*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/12/06 (火) 4時限 14:40~16:10	RPD-1: 理工学実験 (1) 【加熱重合・流し込み比較】 試料作製・埋没・重合	<p>【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較し理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジン of 材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン</p> <p>【学修場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーソナルデンチャーP235-242</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/12/13 (火) 2時限 10:40~12:10	グループ学修に関する説明 (10:40~11:00, 大久保) RPD-2: 理工学実験 (2) 【加熱重合・流し込み比較】 取り出し・切断 (11:00~12:10)	<p>【授業の一般目標】 加熱重合レジンと流し込みレジンと比較しその特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジン of 材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学修場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235~242、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/13 (火) 2時限 10:40~12:10	グループ学修に関する説明 (10:40~11:00, 大久保) RPD-2: 理工学実験 (2) 【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 (11:00~12:10)	行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸 矢崎 和 井上 貴 長谷川 正 小出 安 北村 淑子 末光 恭代 渡邊 彩 古賀 弘 石渡 宜 木村 丈 柴 純 福井 隆 三 俊介
2016/12/13 (火) 3時限 13:00~14:30	RPD-2: 理工学実験 (2) 【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断	<p>【授業の一般目標】 加熱重合レジンと流し込みレジンを比較しその特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学修場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP235~242、配布プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸 矢崎 和 井上 貴 長谷川 正 小出 安 北村 淑子 末光 恭代 渡邊 彩 古賀 弘 石渡 宜 木村 丈 柴 純 福井 隆 三 俊介
2016/12/13 (火) 4時限 14:40~16:10	RPD-2: 理工学実験 (2) 【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 16:00~解説講義 (西山典宏 河相安彦 301)	<p>【授業の一般目標】 加熱重合レジンと流し込みレジンを比較しその特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮 歯学生のパーシャルデンチャーP235~242、配布プリント</p> <p>【学修場所・媒体等】 13:00~15:50 第5実習室 16:00~ 301教室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室、301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠 大久保 康 桑原 昌和 中田 克久 石井 浩史 神谷 智浩 神谷 伸 矢崎 和 井上 貴 長谷川 正 小出 安 北村 淑子 末光 恭代 渡邊 彩 古賀 弘 石渡 宜 木村 丈 柴 純 福井 隆 三 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/13 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-2: 理工学実験 (2) 【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 16:00～解説講義 (西山典宏 河相安彦 301)	*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相安彦 成田紀之 飯島守雄 木本統 伊藤誠 大久保康 保昌和 桑原克久 中田浩史 石井智浩 神谷和伸 神谷貴啓 矢崎正 井上正安 長谷川淑子 小出恭代 北村彩 末光弘 渡邊宜 古賀丈 賀麻奈 石渡花 木村幸志 柴純 隆三 福井俊介
2016/12/20 (火) 2時限 10:40～12:10	有床11. 完成義歯の装着 (装着時の検査、調整、指導など)	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 完成義歯の装着時の診査項目を列挙できる。 2. 完成義歯の診査材料を述べることができる。 3. 咬合診査の方法を述べることができる。  【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学: 11章および12章 (P242～269) 歯学生のパーシャルデンチャー: 28章および29章 (P244～258)  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相安彦 飯島守雄
2016/12/20 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-3: 重合準備 (ロウ義歯埋没・流ろう)	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章  【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療	河相安彦 成田紀之 飯島守雄 木本統 伊藤誠 大久保康 保昌和 桑原克久 中田浩史 石井智浩 神谷和伸 神谷貴啓 矢崎正 井上正安 長谷川淑子 小出恭代 北村彩 末光弘 渡邊宜 古賀丈 賀麻奈 石渡花 木村幸志 柴純 隆三 福井俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/20 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-3: 重合準備 (ロウ義歯埋没・ 流ろう)	サ 埋没、重合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2016/12/20 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-3: 重合準備 (ロウ義歯埋没・ 流ろう)	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろウ義歯の埋没を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流 蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章  【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填 入)  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/01/10 (火) 2時限 10:40～12:10	有床12. 装着後の 問題への対処 (残 存歯、残存歯列、 顎堤の変化、床下 粘膜の変化。問題 時の検査、調整、 指導など)	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 完成義歯の装着時の診査項目を列挙できる。 2. 完成義歯の診査材料を述べるができる。 3. 咬合診査の方法を述べるができる。  【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学: 11章および12章 (P242～269) 歯学生のパーシャルデンチャー: 28章および29章 (P244～258)  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 サ 装着  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論	河相 安彦 飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/10 (火) 2時限 10:40～12:10	有床12. 装着後の問題への対処(残存歯、残存歯列、顎堤の変化、床下粘膜の変化。問題時の検査、調整、指導など)	各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2017/01/10 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-4: レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。  【行動目標(SBOs)】 1.加熱重合レジンの填入ができる。 2.加熱重合レジンの重合ができる。 3.流し込レジンの填入ができる。 4.流し込みレジンの重合ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第77章  【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/01/10 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-4: レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。  【行動目標(SBOs)】 1.加熱重合レジンの填入ができる。 2.加熱重合レジンの重合ができる。 3.流し込レジンの填入ができる。 4.流し込みレジンの重合ができる。  【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第77章  【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)  【学修方略(LS)】 実習  【場所(教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/10 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-4: レジン填入・重合	<p>【国家試験出題基準(副)】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)            *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。            *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/01/17 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験⑤(有床義歯補綴学 10:40～11:30) グループ学修の進捗確認(11:30～)	<p>【準備学修項目】            出題範囲: CD3～4, PD8～9, 有床10～12</p> <p>【学修方略(LS)】            その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】            301教室</p>	河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和
2017/01/17 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-5: 義歯の取り出し・研磨	<p>【授業の一般目標】            レジン重合後の総義歯と局部床義歯のでフラスキングを安全に行い、適切な研磨法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】            1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。            2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目】            取り出し、研磨</p> <p>【学修場所・媒体等】            局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目(床研磨、レーズによる研磨)</p> <p>【学修方略(LS)】            実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            5 部分床義歯による治療            シ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準(副)】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            コ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)            *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。            *⑪可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/01/17 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-5: 義歯の取り出し・研磨	<p>【授業の一般目標】            レジン重合後の総義歯と局部床義歯のでフラスキングを安全に行い、適切な研磨法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】            1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。            2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目】            取り出し、研磨</p> <p>【学修場所・媒体等】            局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目(床研磨、レーズによる研磨)</p> <p>【学修方略(LS)】            実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】            第5実習室</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/17 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-5: 義歯の取り出し・研磨	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	柴 隆三 福井 俊介
2017/01/24 (火) 2時限 10:40～12:10	有床13. 有床義歯の製作過程と装着後の対応①	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学：11章および12章（P242～269） 歯学生のパーソナルデンチャー：28章および29章（P244～258）</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表（ポスターツアー形式）</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録 オ 咬合器装着・調節 カ サベイング 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 木本 統 飯島 守雄 大久保 昌和 伊藤 誠康 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸
2017/01/24 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-6: 完成義歯の口腔内試適・調整・装着	<p>【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調整方法について修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～[23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章</p> <p>【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着）</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/24 (火) 3時限 13:00~14:30	RPD-6: 完成義歯の口腔内試適・調整・装着	<p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/01/24 (火) 4時限 14:40~16:10	RPD-6: 完成義歯の口腔内試適・調整・装着	<p>【授業の一般目標】 完成した総義歯と局部床義歯を患者に使用してもらうために適切な装着時の調整方法について修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。</p> <p>【準備学修項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング~ [23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第7章~8章</p> <p>【学修場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着)</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整(削合)と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/02/07 (火) 2時限 10:40~12:10	有床13. 有床義歯の製作過程と装着後の対応②	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置の円滑な製作と装着後の問題点に対応できるようになるために必要な知識、技能と態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p> <p>【準備学修項目】 無歯顎補綴治療学: 11章および12章 (P242~269) 歯学生のパーシャルデンチャー: 28章および29章 (P244~258)</p> <p>【学修場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表(ポスターツアー形式)</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障</p>	河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/02/07 (火) 2時限 10:40～12:10	有床13. 有床義歯の製作過程と装着後の対応②	害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 ク 蠟義歯の試適 ケ 埋没、重合 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ サ 装着 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 中田 浩史
2017/02/07 (火) 3時限 13:00～14:30	RPD-7: チェック バイト・咬合器再 付着・咬合調整・ 製作装置のフィード バック	【授業の一般目標】 重合後に生じる咬合の変化に対応するために必要な咬合調整法について修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。  【準備学修項目】 義歯調整、咬合調整  【学修場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 害 6 全部床義歯による治療 サ 装着  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘 古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介
2017/02/07 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-7: チェック バイト・咬合器再 付着・咬合調整・ 製作装置のフィード バック	【授業の一般目標】 重合後に生じる咬合の変化に対応するために必要な咬合調整法について修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。  【準備学修項目】 義歯調整、咬合調整  【学修場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着  【学修方略 (LS)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 木本 統 伊藤 誠康 大久保 昌和 桑原 克久 中田 浩史 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 井上 正安 長谷川 淑子 小出 恭代 北村 彩 末光 弘宜 渡邊 丈紘



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/02/07 (火) 4時限 14:40～16:10	RPD-7: チェック バイト・咬合器再 付着・咬合調整・ 製作装置のフィー ドバック	<p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。</p>	古賀 麻奈花 石渡 幸志 木村 純 柴 隆三 福井 俊介

## クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	會田 雅啓 (クラウンブリッジ補綴学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	歯の組織が欠損した患者の病因および病態の診断と、それに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要なクラウンブリッジ補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、※増田 美樹子、※渡辺 官、青木 直子、内堀 聡史、加藤 由佳子
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第5版 矢谷博文ほか編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 鈴木一臣ほか 学建書院 歯科補綴学専門用語集 第4版 (社法) 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (EV)	平常試験(平常試験①～⑥の平均:50%)、実習(補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など:50%)を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p><b>【クラウンブリッジ補綴学講義】</b>            歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて、適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p><b>【クラウンブリッジ補綴学実習】</b>            講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に应用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し、臨床に应用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるため、進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/30 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンブリッジ治療の目的と健康科学 クラウンブリッジ治療の利益と不利益	<p><b>【授業の一般目標】</b>            クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。            クラウンブリッジの要件を理解する。            クラウンの種類と特徴を理解する。            クラウンの適応症を理解する。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b>            1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。            2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。            3. クラウンの種類と特徴を述べるができる。            4. クラウンの適応症を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目】</b>            クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。            クラウンの種類と特徴について学ぶ。</p> <p><b>【学修場所・媒体等】</b>            マルチメディア</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>            講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b>            301教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b>            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            4 クラウンブリッジによる治療            ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。            *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】            *③クラウンブリッジの設計を適切にできる。</p>	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/09/30 (金) 3時限 13:00～14:30	クラウンブリッジ 補綴学の定義 クラウンブリッジ 治療の目的と意義 クラウンブリッジ 治療の流れ クラウンブリッジ 治療の歴史 クラウンブリッジ 治療と健康科学	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ意義と具備条件を説明できる。 2. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 3. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 4. 支台装置の種類について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの装置の種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2016/09/30 (金) 4時限 14:40～16:10	器具の配布 研究用模型の製作	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【準備学修項目】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 昌信 若見 祐史 大村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 渡辺 増田 美樹子 加藤 由佳子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/10/07 (金) 2時限 10:40～12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有髄歯の特徴を述べるができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。</p>	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/07 (金) 2時限 10:40～12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【準備学修項目】 有髄歯の特徴を説明できる。 歯質の切削器具の名称と使用法について述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べるができる。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	大村 祐史
2016/10/07 (金) 3時限 13:00～14:30	支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>【準備学修項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/10/07 (金) 4時限 14:40～16:10	支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>【準備学修項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成を行うためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略 (L S)】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/07 (金) 4時限 14:40～16:10	支台歯形成	<p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 由佳子 加藤 官 渡辺 美樹子 増田 ちひろ 上里 千晶 三浦
2016/10/14 (金) 2時限 10:40～12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べるができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作法、要件、使用器具について学ぶ</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。</p>	増田 美樹子
2016/10/14 (金) 3時限 13:00～14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【準備学修項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 村中 孝明 田後 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 由佳子 加藤 官 渡辺 美樹子 増田 ちひろ 上里 千晶 三浦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/14 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/10/14 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。  【準備学修項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/10/21 (金) 2時限 10:40~12:10	個人トレー 印象採得	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。  【準備学修項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。  【学修場所・媒体等】 マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/10/21 (金) 2時限 10:40～12:10	個人トレー 印象採得	*⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 *⑩クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。	若見 昌信
2016/10/28 (金) 2時限 10:40～12:10	印象採得 歯肉圧排	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。  【準備学修項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。  【学修場所・媒体等】 マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	若見 昌信
2016/10/28 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。  【準備学修項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/10/28 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/04（金） 2時限 10:40～12:10	作業模型 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】</p> <p>作業模型の要件について理解する。 作業模型の種類と特徴について理解する。 上顎作業模型の咬合器への付着法について理解する。 上顎模型に対する下顎模型の付着法について理解する。 顎路および顎路角の調整法について理解する。 歯型の分割，調整法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 作業模型の要件について述べるができる。 2. 作業模型の種類と特徴について述べるができる。 3. 上顎作業模型の咬合器への付着法について述べるができる。 4. 上顎模型に対する下顎模型の付着法について述べるができる。 5. 顎路および顎路角の調整法について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>作業模型の要件と種類，特徴について学ぶ。 作業模型の咬合器付着の意味について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	小林 平
2016/11/04（金） 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】</p> <p>個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/04 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/04 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学修項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【学修場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/11 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について理解する。 顎運動，顎路，顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/11 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位, 作用について説明できる。 3. 顎運動, 顎路, 顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べることができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー, チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。</p> <p><b>【準備学修項目】</b> 顎関節の構造, 咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p><b>【学修場所・媒体等】</b> マルチメディア</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 301教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用方法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し, 調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑩クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	田中 孝明
2016/11/11 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着	<p><b>【授業の一般目標】</b> 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具, 材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具, 材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目】</b> 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具, 材料について学ぶ。</p> <p><b>【学修場所・媒体等】</b> 第5実習室</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 実習</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/11 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着	4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 由佳子 藤加 圭子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/11 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。  【準備学修項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。  【学修場所・媒体等】 第5実習室  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 由佳子 藤加 圭子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/18 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験④(クラ ウンブリッジ補綴 学)	【学修方略 (LS)】 その他  【場所 (教室/実習室)】 301教室	會田 雅啓
2016/11/18 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。  【準備学修項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 由佳子 藤加 圭子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/18 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶</p>
2016/11/18 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整 ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶</p>
2016/11/25 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べるができる。 2. ろう型の要件について説明できる。 3. 埋没材および埋設法の種類、使用法について述べるができる。 4. 歯冠補綴物の鋳造収縮の補償について説明できる。 5. 鋳造欠陥の種類と原因について説明できる。 6. 研磨用機器、材料について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	<p>渡辺 官</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/25 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	渡辺 官
2016/11/25 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/11/25 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/11/25 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	*⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/12/02 (金) 2時限 10:40～12:10	埋没 鑄造 熱処理 研磨	<p>【授業の一般目標】 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 2. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 4. 研磨用機器、材料について述べるができる。</p> <p>【準備学修項目】 埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 102教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *⑥クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	増田 美樹子
2016/12/02 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボン</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/02 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>ティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/12/02 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べる事ができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/12/09 (金) 2時限 10:40~12:10	クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理	<p>【授業の一般目標】 クラウンの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンの口腔内試適の手順を述べる事ができる。 2. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3. 合着用セメントの種類と性質について述べる事ができる。 4. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5. 術後管理の内容および重要性について述べる事ができる。</p> <p>【準備学修項目】 クラウンの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/09 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理	E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 *⑤クラウンブリッジ装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。 *⑩クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。	若見 昌信
2016/12/09 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得) 埋没 鑄造 研磨 試適	<p>【授業の一般目標】</p> <p>埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 埋没操作を適切に行うことができる。</li> <li>2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>3. 鑄造操作を適切に行うことができる。</li> <li>4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。</li> <li>6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。</li> <li>8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/12/09 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 試適	<p>【授業の一般目標】</p> <p>埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適が適切にできる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 埋没操作を適切に行うことができる。</li> <li>2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>3. 鑄造操作を適切に行うことができる。</li> <li>4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。</li> <li>6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> <li>7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。</li> <li>8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/09 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 試適	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 樹子 上里 美ちひろ 三浦 千晶
2016/12/16 (金) 2時限 10:40～12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べる事ができる。</p> <p>【準備学修項目】 クラウンの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション&lt;標準予防策&gt;</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌 c 医療廃棄物処理</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。 *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	小林 平
2016/12/16 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/16 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p><b>【準備学修項目】</b> 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 実習</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2016/12/16 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p><b>【授業の一般目標】</b> 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p><b>【準備学修項目】</b> 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 実習</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/12/16 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/01/13 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。</p> <p>【準備学修項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボン ティックの選択を含む。】 *③クラウンブリッジの設計を適切にできる。 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	田中 孝明
2017/01/13 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/13 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/01/13 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/01/20 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/20 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べる ことができる。</p> <p>【準備学修項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポン ティックの選択を含む。】 *③クラウンブリッジの設計を適切にできる。 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	田中 孝明
2017/01/20 (金) 3時限 13:00～14:30	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製 作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【準備学修項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポン ティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/01/20 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製 作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/20 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陶材の築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。</li> <li>2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。</li> <li>3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。</li> <li>4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/01/27 (金) 2時限 10:40～12:10	支台築造	<p>【授業の一般目標】 無髄歯の特徴を理解する。 築造の意義について理解する。 築造法の種類について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 無髄歯の特徴を述べることができる。</li> <li>2. 築造の意義について説明できる。</li> <li>3. 築造法の種類について述べることができる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。</p>	増田 美樹子
2017/01/27 (金) 3時限 13:00～14:30	レジン築造 支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</li> <li>2. 適切な築造操作ができる。</li> <li>3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/27 (金) 3時限 13:00~14:30	レジン築造 支台歯形成	1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 樹子 上里 美ちひろ 三浦 千晶
2017/01/27 (金) 4時限 14:40~16:10	レジン築造 支台歯形成	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【準備学修項目】 築造について学ぶ。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 樹子 上里 美ちひろ 三浦 千晶
2017/01/31 (火) 1時限 09:00~10:30	インフォームド コンセント CAD/CAM冠	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。 インフォームドコンセントの成立要件について理解する。 インフォームドコンセントを普及させるための工夫について理解する。 説明文書、同意文書の記載上の注意点について理解できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 2. インフォームドコンセントの成立要件について述べることができる。 3. インフォームドコンセントを普及させるための工夫について説明できる。 4. 説明文書、同意文書の記載上の注意点について述べることができる。 5. CAD/CAM冠の製作操作について説明できる。  【準備学修項目】 インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。 CAD/CAM冠の製作過程について学ぶ。  【学修場所・媒体等】 マルチメディア  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守	小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/01/31 (火) 1時限 09:00～10:30	インフォームド コンセント CAD/CAM冠	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-4 インフォームドコンセント</p> <p>*①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p> <p>③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。</p> <p>④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p> <p>⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療</p> <p>*②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	小林 平
2017/01/31 (火) 2時限 10:40～12:10	インフォームド コンセント CAD/CAM冠	<p>【授業の一般目標】</p> <p>インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。</p> <p>インフォームドコンセントの成立要件について理解する。</p> <p>インフォームドコンセントを普及させるための工夫について理解する。</p> <p>説明文書、同意文書の記載上の注意点について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。</p> <p>2. インフォームドコンセントの成立要件について述べることができる。</p> <p>3. インフォームドコンセントを普及させるための工夫について説明できる。</p> <p>4. 説明文書、同意文書の記載上の注意点について述べることができる。</p> <p>5. CAD/CAM冠の製作操作について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。</p> <p>CAD/CAM冠の製作過程について学ぶ。</p> <p>【学修場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>イ 歯科医師と患者・家族との関係</p> <p>a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>ア 医の倫理、生命倫理</p> <p>c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項</p> <p>A-4 インフォームドコンセント</p> <p>*①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p> <p>③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。</p> <p>④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p> <p>⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療</p> <p>*②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	小林 平
2017/02/03 (金) 2時限 10:40～12:10	平常試験⑥ (クラ ウンブリッジ補綴 学)	<p>【学修方略 (LS)】</p> <p>その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p>	會田 雅啓
2017/02/03 (金) 3時限 13:00～14:30	支台歯形成 CAD/CAM冠	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切なハンドピースの操作ができる</p> <p>適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。</p> <p>各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 適切なハンドピースの操作をする。</p> <p>2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。</p> <p>3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>4. CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【準備学修項目】</p> <p>適切なハンドピースの操作ができる。</p> <p>適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。</p> <p>各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。</p> <p>CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 美樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/02/03 (金) 3時限 13:00~14:30	支台歯形成 CAD/CAM冠	<p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶
2017/02/03 (金) 4時限 14:40~16:10	支台歯形成 CAD/CAM冠	<p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。 4. CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【準備学修項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。 CAD/CAM冠の製作操作ができる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 加藤 由佳子 渡辺 官 増田 樹子 上里 ちひろ 三浦 千晶

## 顎口腔系の機能学

年次	学期	学修ユニット責任者
3年次	通年	川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）

学修ユニット 学修目標 (GIO)	咬合・咀嚼障害の病因および病態の適切な診断とそれに伴う機能・形態・心理社会的障害の回復を目的とした治療計画の立案および処置を行うために必要な補綴学の顎口腔機能に関する基本的な知識を修得する。
担当教員	川良 美佐雄、小見山 道、浅野 隆、鈴木 浩司、飯田 崇
教科書	歯科補綴学専門用語集第4版 公益社団法人 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版株式会社
評価方法 (EV)	平常試験（平常試験①～⑥の平均：50%）、実習（補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価、実技試験およびPBLの評価など：50%）を最終評価とする。ただし、講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	顎口腔系の機能学では、歯科補綴学を理解するうえで必須の基本用語を解説します。それらは全く初めての聞きなれない専門用語ですが、生涯使用する言葉となります。また、補綴物を機能的に生かすための基本的な解剖、生理の知識について解説します。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/08 (金) 1時限 09:00～10:30	下顎運動の機能と解剖	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連について説明できる 2. 下顎の限界運動について説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連 下顎の限界運動</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 ウ 顎関節の機能 オ 咀嚼</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/04/15 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎位 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/04/15 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位 (1)	<p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/04/22 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位 (2)	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/05/06 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎運動の決定要素	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 2. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準となる基準点・基準面</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式</p>	川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2016/05/06 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎運動の決定要素	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道
2016/05/13 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合の概念	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合様式を挙げ説明できる。 2. 咬合器の目的を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 咬合様式の名称と内容 咬合器の目的</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/05/20 (金) 1時限 09:00～10:30	顎機能の検査 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動の検査方法を挙げ説明できる。 2. 咬合診査の方法を挙げ説明できる。 3. 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法を挙げ説明できる。 4. 咀嚼機能の検査方法を挙げ説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 下顎運動の検査方法 咬合診査の方法 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法 咀嚼機能の検査方法</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査 ケ 下顎位検査 コ 下顎運動検査 サ 顎関節・筋機能検査 シ 舌運動・舌圧検査 ス 咀嚼機能検査 セ 咬合力検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/05/27 (金)	顎機能の検査 (2)	<p>【授業の一般目標】</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	顎機能の検査(2)	<p>適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>顎関節・筋機能検査を説明できる。</li> <li>咬合力・咬合接触面積・接触点の検査を説明できる。</li> <li>舌運動・舌圧の検査を説明できる。</li> <li>鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる。</li> <li>構音機能検査を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>顎関節・筋機能検査 咬合力・咬合接触面積・摂食点の検査 舌運動・舌圧の検査 鼻咽腔閉鎖機能検査 構音機能検査</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査</p> <p>1 口腔内検査・口腔機能検査</p> <p>サ 顎関節・筋機能検査</p> <p>シ 舌運動・舌圧検査</p> <p>セ 咬合力検査</p> <p>タ 構音機能検査</p> <p>チ 鼻咽腔閉鎖機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>*⑤顎関節の構造と機能を説明できる。</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*②舌の構造と機能を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2016/06/03(金) 1時限 09:00～10:30	平常試験②(顎口腔系の機能学)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>顎口腔系の機能学の座学の範囲に関する知識を修得する</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>顎口腔系の機能学のSBOsすべて</li> </ol> <p>【準備学修項目】</p> <p>顎口腔系の機能学の座学の範囲</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*③歯列と咬合について説明できる。</p> <p>*⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇